



概要

富士市地域公共交通総合連携計画に基づき、公共交通空白地域である「丘地区」及び路線バスの実質的な空白地域となっている「大淵地区」において、コミュニティバス・デマンドタクシー等、新たなコミュニティ交通を導入することで「地域の足」を確保するものです。

●丘地区コミュニティバス運行

需要調査(アンケート・ワークショップなど)を実施し、住民のニーズに合った効率的なルート設定、ダイヤを考察し、利便性の高い公共交通サービスを確保します。

●運行ルート上のバス停設置

上記需要調査を基に、利用者のニーズに合った乗降位置を把握し、分かりやすかつ景観にも配慮した停留所を設置します。

○大淵地区デマンドタクシー運行

居住エリアが拡散し、旅客流動調査においても低密度な状況であることから、タクシーを利用したデマンドサービスを確保します。当該システムは、市内において初の試みであることから、地元・タクシー事業者と十分協議したうえで、導入に取り組みます。

○運行エリア内における停留所設置

運行計画の策定と合わせ、住民の意見を十分反映させた上で、発着ゾーン(停留所)を設定し、停留所を設置します。

丘地区



大淵地区

